



大崎地域観光 PR Facebook
「アイラブオオサキ」への投稿も
行っています。

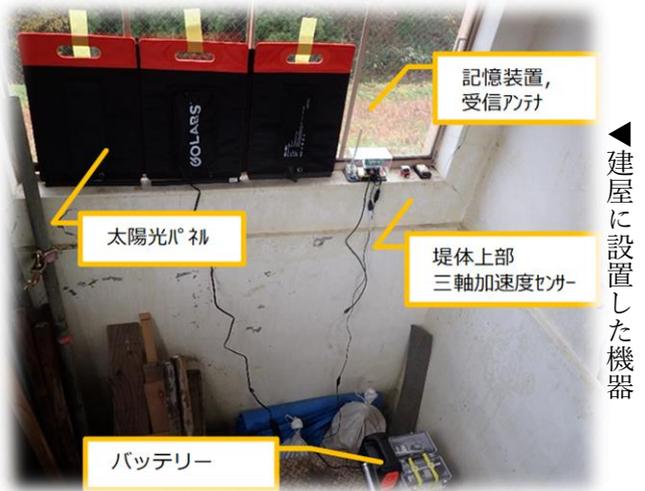
ため池の遠隔監視システムの技術検討に取り組んでいます

近年、災害が頻繁に発生しており、災害時の土地改良施設の緊急点検では施設の確認等に時間を要する場合があります。特に、ため池等人命に関わる土地改良施設では、速やかな被災状況の把握を可能とするシステムの構築が必要になっています。

そこで、当部では試験的に、令和3年11月末から加美町の孫沢ため池に三軸加速度センサーを設置し、加速度（震度）の計測を行い、ため池の遠隔監視を試みています。



▲
堤体下部に設置した三軸加速度センサー



この取り組みを県の令和3年度農業農村整備「技術研修会」で、『防災重点ため池の維持管理省力化に向けた遠隔監視システムの試行』と題し、各機関の事例を元にシステム構築可能か検討した結果と当部の試行状況について報告したところ、優秀賞を受賞しました。

リモート形式での工場検査を実施しました

令和4年2月21日、農地整備事業地区の工事で設置するポンプ設備の工場検査をリモート形式で実施しました。

工場検査とは、本来、工事で現場に設置するポンプやコンクリート製品等を製作している工場に出向き、実際に製品の形状や性能を確認するために実施する検査です。

今回は、試験対象のポンプが京都府にある工場で作られているため、現在のコロナ禍で、現地工場での性能試験に立会うことが困難であることからリモート形式での検査を実施しました。

リモート形式で検査を行うことは感染対策の他に、移動に掛かる経費や時間の縮減にもなります。

検査では、工事監督職員及び検査員と数人の職員が見学のために参加し、事務所と工場をオンラインで繋ぎ、試験対象であるポンプの外観寸法と性能が仕様書の内容を満足することを確認しました。



▲検査の様子



▲ポンプの性能確認画面

農地整備事業「田尻西部地区」の権利者会議を開催しました

権利者会議とは…農地整備事業により農地の区画形状を変更したことに伴い、従前の土地所有者が工事後のどの土地に登記されるかを定めた「換地計画」を決定するための会議です。権利者会議は関係権利者の3分の2以上の出席で会議が成立し、出席者の3分の2以上の賛成により可決されます。

令和4年2月25日（金曜日）に江合川沿岸土地改良区にて、農地整備事業「田尻西部地区」の権利者会議を開催しました。

農地整備事業「田尻西部地区」は、大崎市の北東部に位置し、地区の南部を一級河川江合川、北部を一級河川田尻川に挟まれ、東部及び西部は水田地帯と接する平坦な穀倉地帯です。地区面積は542.5ha、受益面積は479.8haで平成12年度に着工し、総事業費約56億円をかけ、令和5年度に工事完了予定です。

今回の権利者会議は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、権利者には事前に書面議決書の提出を依頼しており、当日の入場者を最小限に限定して開催しました。当日は、総権利者584名のうち492名（うち実出席者18名）が出席しました。

会議は、当事務所の千葉所長挨拶に始まり、次いで江合川沿岸土地改良区氏家理事長から挨拶をいただきました。

その後、議長に選出された馬放集落 大場様の議事進行のもと、全会一致で換地計画案は可決されました。



▲千葉所長



▲氏家理事長



▲大場議長

管内工事現場の安全パトロールを実施しました

令和3年11月から令和4年3月にかけて、管内の工事現場を対象に、安全パトロールを実施しました。

安全パトロールは、当部が監督する工事の現場事務所や施工現場を見回り、安全管理、施工管理、工程管理等が適切になされているかを確認・指導する目的で実施しているものです。

パトロールではまず、現場事務所内で工事関係資料や備品等の確認を行った後、工事施工現場に立ち会い、重機の点検簿や危険箇所の確認を行いました。

パトロールを実施した約40箇所の工事現場では重大事故につながる要素は見受けられませんでした。

県としては、今後も無事故・無災害を目指し、工事の安全管理に努めて参ります。



▲工事関連資料の確認



▲安全管理の確認

多面的機能支払交付金の活動組織を取材しました

令和3年11月18日、多面的機能支払交付金の活動で令和3年度から田んぼダムに取り組む、大崎市田尻の中目地域環境保全推進協議会と大崎市鹿島台の本地環境保全協議会を取材しました。（「水田の雨水貯留機能の強化の推進」として、田んぼダムの取組みは令和3年度から資源向上支払の加算措置の対象となっています。）

中目地域環境保全推進協議会（大崎市田尻）

中目地域環境保全推進協議会では、「昔から田んぼにはダムの素質があると思っていた。近年頻発する豪雨災害を考慮し、地域の下流の田尻川での被害を減らすために、今、田んぼダムに取り組まなければ機会を逃すことになる。」という思いから構成員の農家の協力を受け、田んぼダムの取組みを始めたそうです。

令和3年は幸いなことに大きな豪雨等に見舞われることはなく、田んぼダムが活躍する事態にはなりませんでしたが、来年以降も構成員への普及・啓蒙を図るとともに、畦塗りを実施するなどして田んぼダムの効果を発揮する態勢を整えていきたいと話していました。



本地環境保全協議会（大崎市鹿島台）



本地環境保全協議会では、「鹿島台地域は昔から水害が多い地域で、大雨の際に、少しでも下流の水害被害を軽減できるように」という思いで取組みを始めたそうです。

今年度、設置してみた所感としては、「堰板は設置したままで特に支障は無く、来年度以降、まだ田んぼダムを実施できそうな箇所があるので、より実施面積を増やしていきたいと話していました。

「令和3年度大崎地域農地集積研修会」を開催しました

令和4年1月18日、大崎合同庁舎にて「令和3年度大崎地域農地集積研修会」を開催しました。

今年度は新型コロナウイルスの感染拡大による外食産業での需要減などにより米価が下落している状況等を踏まえ、担い手の経営安定策の1つとなる高収益作物の栽培や導入についての内容を中心に研修会を実施しました。

研修会では、まず県農業・園芸総合研究所から水田を利用した大規模露地園芸作物の栽培について、県や大崎圏の戦略品目の作付体系などを交えて紹介がありました。

続いて、当部から転作畑でのトラクターでの締め固めによる耕盤層の形成等、排水不良の原因やその対策について説明を行いました。

最後に、県農政部園芸推進課から「みやぎ園芸特産振興戦略プラン」の概要や露地園芸に活用できる交付金・事業について説明がありました。

来年度以降も、当部としてはほ場整備地区における高収益作物の作付拡大に向け、積極的に研修等の機会を設けていきたいと考えております。



花いっぱいプロジェクトを実施しています

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、外出やイベントが自粛され、宮城県では県産花きの需要低迷が続いています。

そこで、宮城県では花き業界を支援するため、関係機関や民間企業と連携しながら県産花きの消費拡大を図る花いっぱいプロジェクトを実施しています。

当部では、県発注の工事現場で花きによるイメージアップとして、関係者の方々からご協力をいただいております。

今年度、大崎管内では令和4年2月末時点で12つの工事現場で県内産花きが飾られ、現場を彩りました。

花いっぱいプロジェクト 大崎管内取組実績（令和4年2月末現在）

工事名	受注者	花き購入場所
下野目11工区区画整理工事	柏原建設(株)	こんの花園
船越2-1工区区画整理(その2)工事	小野田建設(株)	渋谷フラワー
下野目10-1工区区画整理工事	柏原建設(株)	こんの花園
下野目10-2工区区画整理外工事	柏原建設(株)	こんの花園
東鹿原地区区画整理付帯工及び災害復旧工事	小野田建設(株)	やくらいナーセリー
笏龍区画整理(その3)工事	小野田建設(株)	やくらいナーセリー
笏龍区画整理(その4)工事	小野田建設(株)	やくらいナーセリー
9-2工区区画整理工事	(株)佐々木組	花野果市場
9-1工区区画整理工事	(株)佐々木組	花野果市場
小里工区区画整理(その3)工事	(株)佐々木組	(有)米倉園芸
北廻工区区画整理(その3)工事	(株)佐々木組	(有)米倉園芸
蕪栗沼区画整理付帯工事	(株)佐々木組	(有)米倉園芸



県のホームページが新しくなりました

令和3年12月から県のホームページが新システムに切り替わり、当部のページの掲載場所が一部変更されました。

従来通り、「トップページ > 組織から探す > 北部地方振興事務所 > 北部地方振興事務所 農業農村整備部」で当部のトップページへアクセスし掲載ページを閲覧できますが、「県政・地域情報 > 広域圏情報 > 大崎」にも当部のページを掲載しており、システムの都合上、後者の方が早く更新される場合が多くなります。今後も、より分かりやすく、県民の皆さまのお役に立つ情報を掲載していけるよう努めて参ります。

部トップページ <<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nh-sgsin-ns/>>

広域圏情報 大崎 <<https://www.pref.miyagi.jp/life/8/36/111/index.html>>

宮城県北部地方振興事務所農業農村整備部

〒989-6117 宮城県大崎市古川旭四丁目1番1号(宮城県大崎合同庁舎4階)

TEL 0229(91)0701(代表)

FAX 0229(23)5014

ホームページ <<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nh-sgsin-ns/>>

大崎地域観光 PR Facebook 「アイラブオオサキ」<<https://m.facebook.com/loveosaki?rdr>>

編集:北部PRWG

